

安全・安心で地域に親しまれる橋へ



都市計画道路 四日町日月山線(山形県)

◆一年を通じて安全・安心で快適な通行空間を確保

旧橋の歩道幅員は1.5mと狭く、歩行者と自転車が輻輳し危険でした。また、降雪期は歩道脇に雪が堆積し歩道幅員を更に狭めていましたが、3.0mに拡幅するとともに、歩道部に無散水消雪を整備することで、一年を通じて安全・安心で快適に通行できる通行空間を確保しました。



整備前



整備後(降雪状況)

◆市街地へのアクセス向上



整備前



暫定形(2月時点)

護国神社前交差点では、最大渋滞長300m、信号待ち3回で交差点を通過できる程の渋滞が発生※していましたが、道路拡幅や交差点改良による交通混雑の緩和で、市街地へのアクセス向上が期待されます。
※H14渋滞調査結果

◆地域に親しまれた親柱の保全・継承

・昭和8年の旧橋設置時から地域に親しまれ、周辺の歴史的環境に調和する親柱を新橋に活用し、馬見ヶ崎橋の歴史・文化と周辺景観の保全・継承しました。



移設前



移設後(LED照明)